



# 住民有志でつくるネット新聞 「Webタイムス笠懸」



第一火曜日に行われる企画会議の様子

## 批判精神旺盛だった 「笠懸公民タイムス」 1949～2006

今から7年前に笠懸町、大間々町、勢多郡東村が合併し、みどり市となりました。それまで笠懸町には「笠懸公民タイムス」という地域住民新聞があり、全戸に配布されていました。当時は町の予算の440万円が計上され、町内から集まった20人ほどの編集委員によって発行されていました。公的資金による発行でしたが、時には町政を厳しく批判する記事もありました。桐生競艇が夜間開催を行った初日には、町内の交通量を調査し、下校する児童の安全に支障はないか問題提起をしました。また、当時行われた地域振興券は本当に地域の商店の活性化につながったのか、商店主からの聞き取り調査など、地道な取材活動もありました。1949年に発刊された「笠懸公民タイムス」は残念ながら町村合併の2006年3月をもって廃刊となりました。市が予算を計上しなかったためでしたが、

歯に衣着せぬ記事に、一部の町議会議員からは疎ましい存在となり、合併を機に切り捨てられたという噂もありました。

## 廃刊、そして復活

笠懸公民タイムス廃刊から半年ほどたった頃、当時編集委員だった数名が集まり、「このままなくしてしまうのは惜しい」という声があがり、自費でつくれるものはないかと検討された末にネット配信新聞「Webタイムス笠懸」が誕生しました。

会員は10名。大半は定年退職した人たちですが、現役で仕事をしている人もいます。月500円の会費と賛助会員の年会費1000円が運営資金です。

## 月4回の編集会議は交流の場

編集会議は月に4回。仕事が終わって午後7時30分から始まります。第1と第3の火曜日

は笠懸公民館にて、第2と第4の月曜日は会員が持つ事務所をお借りして行っています。第1火曜日は企画会議で、当月の取材先の割り振りをします。町で耳にした話題や、みどり市広報に紹介されている行事などが取材先となります。昼間の取材は主に定年退職組になりますが、自営の人も大活躍してくれます。

編集会議は実態としては会員の交流の場となっています。世間話から始まるので、高齢者の介護の話題が一転してお墓の話になったり、児童の通学路のどこそこが危険だというように、時間を忘れて話が続きます。

## メールで校正 ネットで発信

取材した記事は会員にメールで送り、みんなで校正をするということになっていますが、パソコンの得手不得手もあり、校正に参加する人が固定化されていて、「もっと参加してよ」と苦情もしばしば。それでも校正した記事を巡って論争になることもあり、「過激すぎる」とか「そこは譲れない」とかメールが飛び交います。

基本的にはネットによる発信なので、誰でもパソコンで見られるのですが、パソコンを見ることがない人にとっては、紙媒体も必要だろうと言うことで、A4サイズに印刷した新聞を図書館や役所などの公的機関や歯科医院などに置かせてもらっています。

## 未来に夢膨らませて

発刊されて7年が経ちました。会員の思いは「公民タイムスの志を継ぐ」「地域情報を発信したい」「ライフワークとしたい」「自己研鑽の場にしたい」など様々です。自分の書いた記事が思わぬ反響を呼ぶこともあります。「行政に建築

主事がいない」と記事にしたところ、議会で取り上げられ議論になりました。また、地域のなかに残る伝統芸能を取材し、改めて地域のぬくもりを実感したなどまさに自己研鑽の場になっています。新聞作りだけでなく、会員の交流として手料理を持ち寄っての花見会や忘年会。年に一度は山歩きを兼ねての研修旅行なども行っています。多業種に関わってきた会員なので雑学話にも花が咲きます。

記事の多くは笠懸町の出来事の紹介ですが、会員からは自治問題、教育問題などの課題を深める記事も書いていくべきではないとか、自分たちのやりがいを大切にしながら主張すべき事は大事にしていきたいなど今後のあり方にも建設的な意見が出ています。

是非多くの方に「Webタイムス笠懸」のホームページにアクセスしていただき、一地方の文化の営みに触れて欲しいと願っています。

【Webタイムス笠懸会員 須田章七郎】

Webタイムス笠懸  
Web Times Kasakake  
更新日2013/7/16 訪問者数 034556

新着記事

《更新情報》  
・いじめ問題を考える講座「社会を明るくする運動市民集会」の記事を掲載しました。

➡ 犯罪のない明るい社会を目指して ～パルで市民集会～ **NEW**

「第63回みどり市社会を明るくする運動 市民集会」が、7月7日(日)午前10時から笠懸野文化ホール(PAL)で開催されました。この運動の趣旨は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、7月1日から31日までの1か月間を強調月間としています。2013.7.16【全文を読む】

➡ 自分らしく生きていますか? ～いじめ問題を考える講座第1回～ **NEW**

「子どもの気持ちといじめ問題について考える講座」(みどり市主催)の第1回が6月28日(金)、笠懸公民館交流ホールで開催されました。講師はNPO法人埼玉カウンセリングセンター代表の高倉恵子さんで、聴衆はお母さん方を中心に40人程でした。2013.7.16【全文を読む】

➡ 好天のもとで和気藹々のプレー ～みどり市民ゴルフ大会

朝からどんよりと梅雨の天候を象徴するような一日となった6月28日(金)、大間々カントリー倶楽部で「第8回みどり市民チャリティゴルフ大会」が行われ、市内外から60人のゴルフ愛好家が集い、日ごろの腕を競い合いました。2013.7.9【全文を読む】

お知らせ

震災関連情報はこちら  
(みどり市及びその周辺)  
地域のイベント情報コーナー  
手書きイラストコーナー

連載

家庭菜園のすすめ  
はてな?なんでだろう?  
思い出写真館  
林道ツリツクのすすめ  
歩いてみよう

立懸再発見  
“宇”を訪ねて

Webタイムス笠懸  
Webタイムス笠懸について

地域の話や情報をお寄せください。  
web-times@k.email.ne.jp

ホームページ

<http://www.ne.jp/asahi/web-times/kasakake/>  
Eメール

[web-times@k.email.ne.jp](mailto:web-times@k.email.ne.jp)